

震災・復興・放射線の健康影響に関する意識調査（2023 年）
～東京と福島意識の比較～

Awareness Survey on the Health Effects of Earthquakes, Reconstruction, and Radiation (2023)
～Comparison of Attitudes in Tokyo and Fukushima～

*義澤宣明¹，伊藤優美¹，瀬川優美子¹，中山和美¹，白井浩介¹
¹三菱総合研究所

福島県の復興状況や放射線の健康影響に対する意識や関心・理解などに着目した継続的なアンケート調査を実施した。2023 年の調査では福島と東京での福島第一原発廃炉に関する意識の違いについて分析検討した。
キーワード：福島事故、放射線、健康影響、リスクコミュニケーション

1. 緒言

福島県の復興状況や放射線の健康影響に対する意識や関心・理解などに着目した継続的なアンケート調査を実施した。本研究では主に東京都民と福島県民の意識の比較結果を示す。

2. 調査方法

調査方法はインターネットアンケートで、東京都民（1,000 サンプル）、福島県民（500 サンプル）について実施した。調査対象は 20 歳から 69 歳の男女である。年代別には男女それぞれ東京都民 100 サンプル、福島県民 50 サンプルとした。調査は 2023 年 9 月 6 日～8 日に実施した。

3. 結果

東京都民について放射線の健康影響に関する理解は進んでいるが、今回の調査では東京都民及び福島県民ともに若い世代ほど廃炉についての関心が低いことが分かった（図 1）。20 代は 60 代の半分程度であった。

3. 結論

若い世代の廃炉への関心が低い状況が、今後も継続するのか引き続き確認する必要がある。関心が低い状況で放射線に関する懸念が話題化した場合、不正確な情報が拡散しやすくなる恐れもある。そのため関心の低下を防ぐ対応も重要になる。

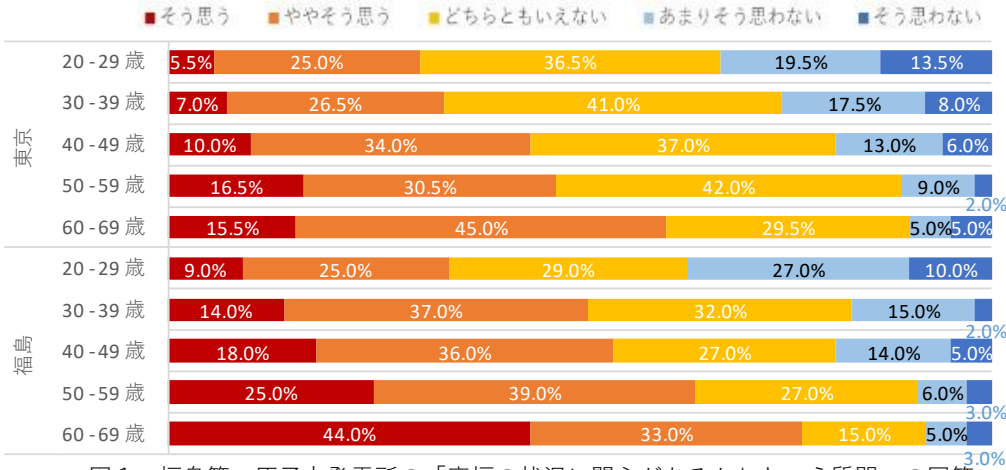


図 1 福島第一原子力発電所の「廃炉の状況に関心があるか」という質問への回答

参考文献

[1] 三菱総研、「震災・復興についての東京都民と福島県民の意識の比較」2024 年
(<https://www.mri.co.jp/knowledge/column/20240306.html>)
[2] 環境省、「放射線による健康影響等に関するポータルサイト」(<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/>)

* Nobuaki Yoshizawa¹, Yumi Ito¹, Yumiko Segawa¹ Kazumi Nakayama¹ and Kosuke Shirai¹
¹Mitsubishi Research Institute.